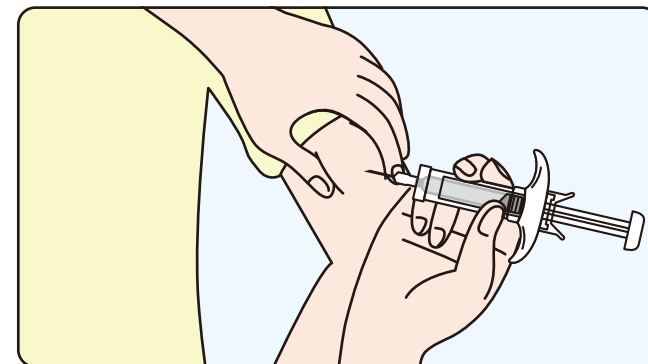
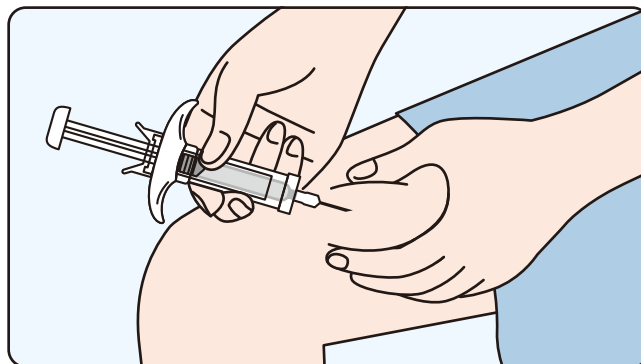
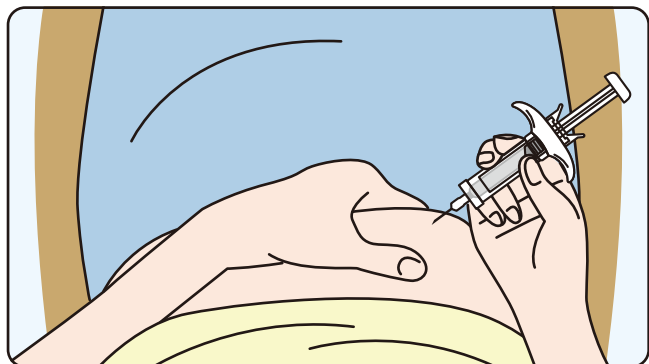


ゴリムマブ[®]BS皮下注50mgシリンジ[F]

自己注射のための ガイドブック



監修 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 教授 金子祐子先生

ゴリムマブBS皮下注50mgシリンジ「F」(以下、ゴリムマブBS)は、
医師により患者さんご自身または介護される方が注射できると判断された場合に
自宅などで自己注射が可能です。

ゴリムマブBSは、お薬の成分が専用の注射器(シリンジ)に充填された、
4週間に1回1本もしくは2本注射する、使い捨ての注射キットです。

はじめてゴリムマブBSで自己注射をする方は、必ず医師または薬剤師、看護師から、
適切な注射方法の指導を受けてください。

自己注射について、わからなくなったり、
不安を感じた場合には、医師または薬剤師、看護師にご相談ください。

ゴリムマブBSの副作用 … P4～5

注射の前に … P6～7

注射の準備 … P8～11

注射の仕方 … P12～17

補助具を使う場合 … P18～20

よくあるご質問 … P21～22

MEMO … P23

ゴリムマブBSの副作用

ゴリムマブBSの治療により、以下の副作用があらわれる可能性があります。

早期の発見・対応が重要ですので、少しでも「おかしいな」と感じるがありましたら、できるだけ早く医師または薬剤師、看護師にご相談ください。

よくみられる副作用

感染症

上気道感染や鼻咽頭炎など、風邪のような症状がみられることがあります。

注射部位反応

注射部位に紅斑、かゆみ、じんましんなどの注射部位反応がみられることがあります。

発現する可能性のある重要な副作用

重篤な感染症

ゴリムマブBSは腫瘍壊死因子(TNF α)の作用を抑制することで効果を発揮しますが、TNF α のはたらきが抑えられることで免疫力(体を病原体などから守る力)が低下して、感染症にかかりやすくなる可能性があります。副作用の多くは鼻咽頭炎(風邪の一種)、上気道感染、気管支炎などの軽度なものですが、敗血症、肺炎、結核などの重篤な感染症や、真菌などの日和見感染症にかかりやすくなる可能性があります。

だっすい 脱髄疾患

神経を覆っている膜(髄鞘)^{ずいしょう}が破壊される病気(脱髄疾患)が起こることがあります。

代表的な疾患に多発性硬化症があります。脱髄疾患にかかっている方または既往のある方、あるいはご家族に脱髄疾患と診断されたことのある方がいる場合は、必ず医師に伝えてください。

間質性肺炎

発熱、咳、息苦しいなどの症状がみられたら、医師に伝えてください。

自己免疫疾患

異常な自己免疫反応により自己抗体が現れ、関節痛・筋肉痛・皮疹などの症状が現れることがあります。

うっ血性心不全

うっ血性心不全が現れる、または症状を悪化させることがあります。

悪性腫瘍

本剤との因果関係は不明ですが、投与を受けた患者さんでは悪性腫瘍・悪性リンパ腫が生じる可能性があります。

血液障害

血液中の白血球、好中球、血小板などが減少することがあります。

B型肝炎の再燃

B型肝炎ウイルスキャリアおよび既往感染の患者さんでは、B型肝炎が再燃することがあります。

アレルギー反応

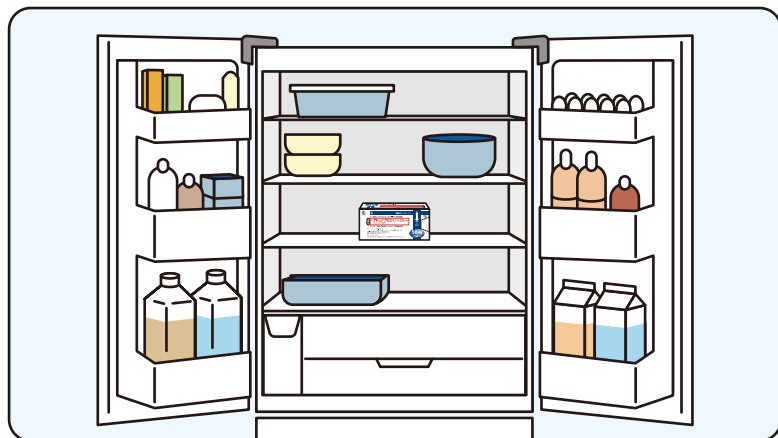
呼吸困難、血圧低下、じんましん、吐き気などを生じるアナフィラキシーショックを含む重篤なアレルギー反応が起こることがあります。

その他の注意

生ワクチンの接種

本剤を使用中は、生ワクチン接種(BCG、麻疹、風疹、水ぼうそう、おたふくかぜなど)は行わないでください。

ゴリムマブBSの保管方法



医療機関で受け取ったお薬は、注射をするときまで
必ずケースごと冷蔵庫で保管してください。

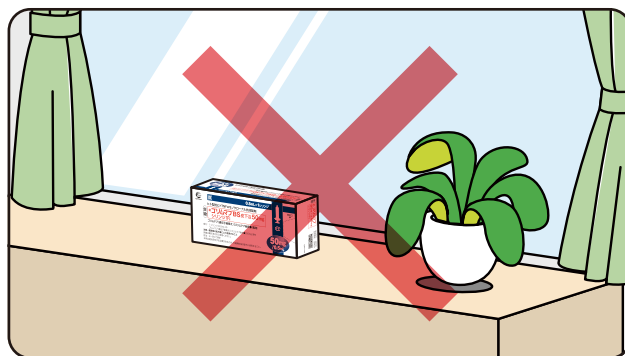
お薬が入ったケースが冷蔵庫に保管されていることをご家族など冷蔵庫を使う方に伝え、ケースをさわったり取り出したりしないように伝えておきましょう。

❗ チルド室には保管しないでください。

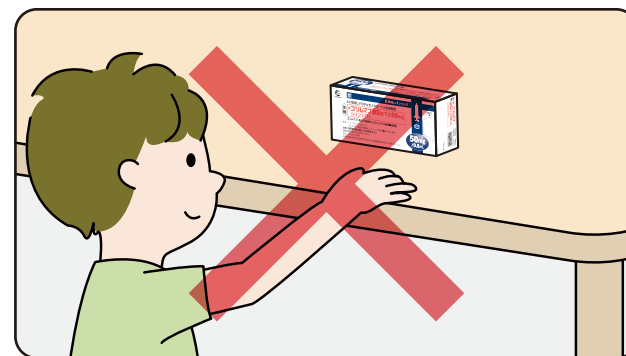
注意点



凍結を避け冷蔵庫(2~8℃)で保管してください。



直射日光のあたる場所に放置しないでください。



お子さまの手が届かない場所に保管してください。

注射に必要なもの

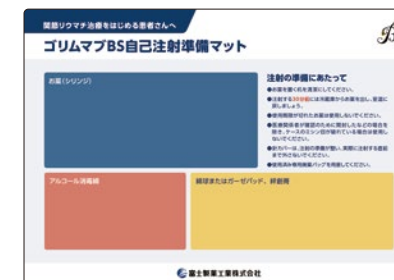
ゴリムマブBSの注射に必要な備品は、注射する前に用意しましょう。



お薬(シリンジ)



アルコール消毒綿



自己注射準備マット



使用済み専用廃棄バッグ
(3本収納用)



綿球またはガーゼパッド



絆創膏



「ゴリムマブBS DIARY」

体調管理

注射前に、ご自身の体調を確認しましょう。

❗ 体調が悪いときは無理に注射せず、医師または薬剤師、看護師にご相談ください。

① お薬を置く机を清潔にします。



明るく平らな場所を確保しましょう。

② 冷蔵庫からお薬を出します。

注射する**30分前**

30
分前



注射する**30分前**には冷蔵庫からお薬を出し、
平らな場所で室温に戻しましょう。

- ❗ お薬を電子レンジなどで温めないでください。
- ❗ お薬を振らないでください。
- ❗ お子さまの手の届かないところに置いてください。
- ❗ 置き忘れに注意してください。

③ 使用期限を確認します。

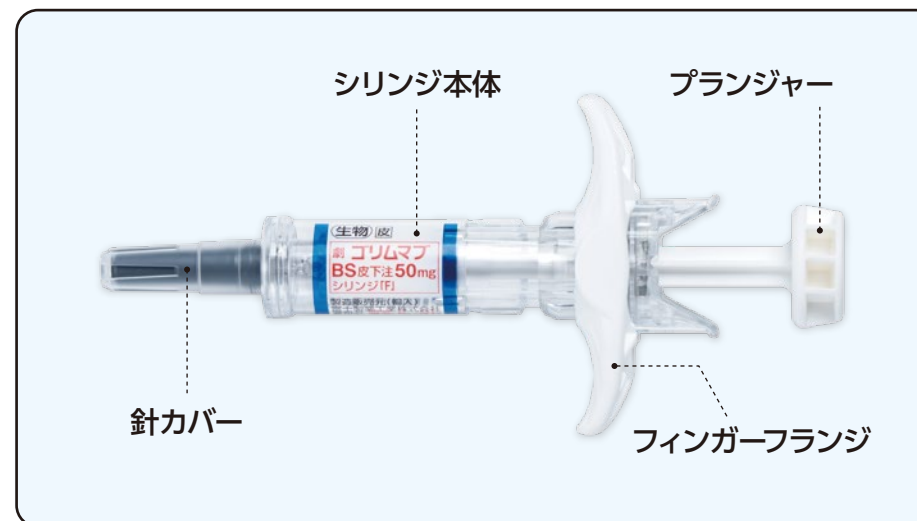


ケースの側面に記載されている使用期限を確認しましょう。

- ❗ 使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
- ❗ 医療関係者が確認のために開封したなどの場合を除き、ケースのミシン目が破れている場合は使用しないでください。

上記にあてはまる場合は、医師または薬剤師、看護師にご連絡ください。

④ シリンジの各パーツの名称と、取り扱い注意事項を確認します。



- ❗ プランジャーを押すと薬液が出ます。絶対にプランジャーを押さえたり、引っ張ったりしないでください。
- ❗ 注射が終わると、セーフティガードが作動し、自動的に針がシリンジの本体の内部に入ります。
- ❗ 針を刺す際は、シリンジの本体を持ちます。
- ❗ 針カバーは、注射の準備が整い、実際に注射する直前まで外さないでください。

⑤注射に必要な備品を自己注射準備マットに並べます。

自己注射準備マット

シリンジ

アルコール消毒綿

関節リウマチ治療をはじめる患者さんへ

ゴリムマブBS自己注射準備マット

お薬(シリンジ)

注射の準備にあたって

- お薬を置く机を清潔にしてください。
- 注射する**30分前**には冷蔵庫からお薬を出し、室温に戻しましょう。
- 使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
- 医療関係者が確認のために開封したなどの場合を除き、ケースのミシン目が破れている場合は使用しないでください。
- 針カバーは、注射の準備が整い、実際に注射する直前まで外さないでください。
- 使用済み専用廃棄バッグを用意してください。

アルコール消毒綿

綿球またはガーゼパッド、絆創膏

富士製薬工業株式会社

綿球またはガーゼパッド

絆創膏

使用済み専用廃棄バッグ
(3本収納用)

自己注射準備マットを机にしき、指定の場所に備品一式を並べましょう。

10

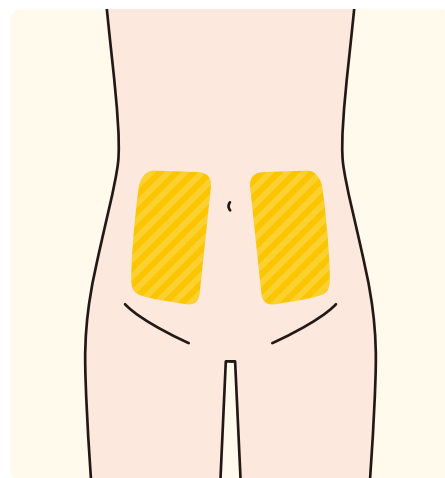
注射の仕方

① 注射部位を選びます。

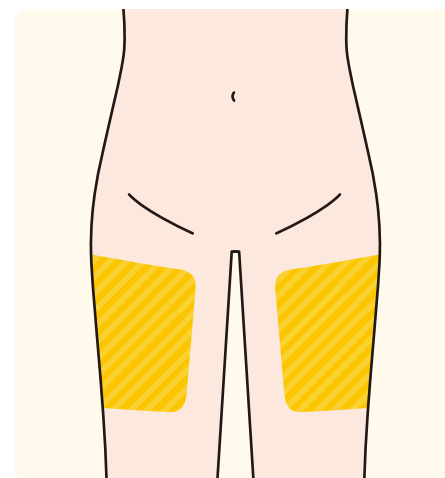
冷蔵庫からお薬を取り出して**30分**が経ったことを確認してください

30分
経過

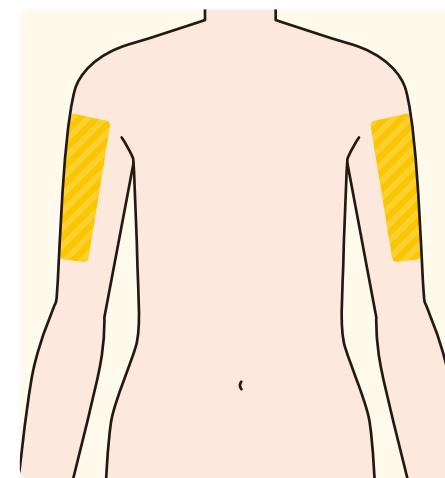
注射に適した
部位



腹部



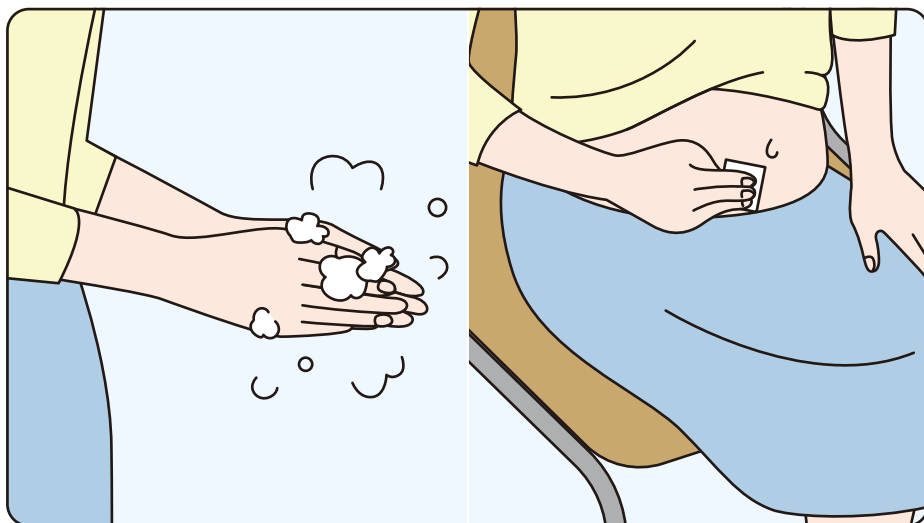
大腿部



上腕部(後ろ側)

- ❗ 上腕の後ろ側にも注射することができます。この場合は介護される方などが注射してください。
- ❗ 腹部に注射する場合は、おへその周り5cm内には注射しないでください。
- ❗ 押して痛みを感じる部位、あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。
- ❗ 傷痕または皮膚線条(肉割れ)がある皮膚にも注射しないでください。
- ❗ 同じ箇所に繰り返し注射しないでください。

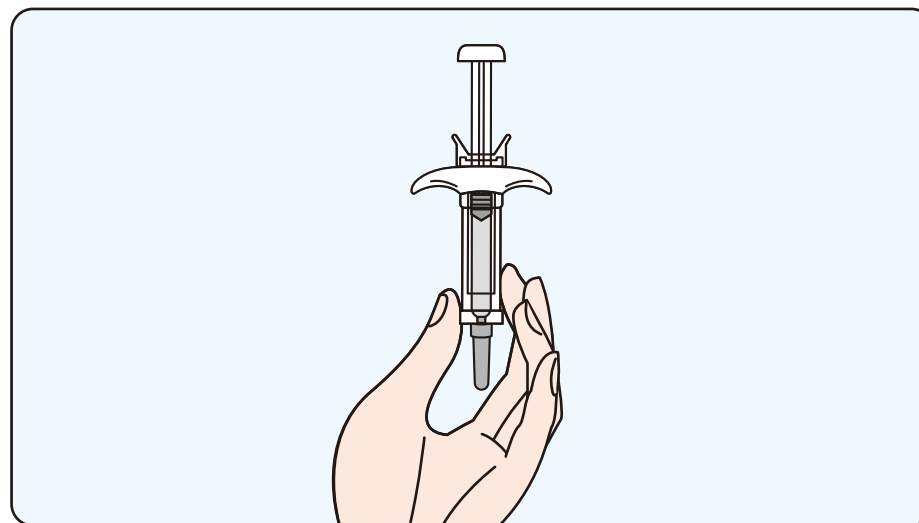
② 注射部位を消毒します。



あらかじめ手は石鹸でよく洗いましょう。
手洗い後は清潔なタオルで水気を十分に拭き取ってください。
アルコール消毒綿で注射部位を広めに消毒しましょう。

❗ 消毒した後は、注射部位に触れたり、風をあてたり、
息を吹きかけたりしないでください。

③ シリンジと薬液の状態を確認します。

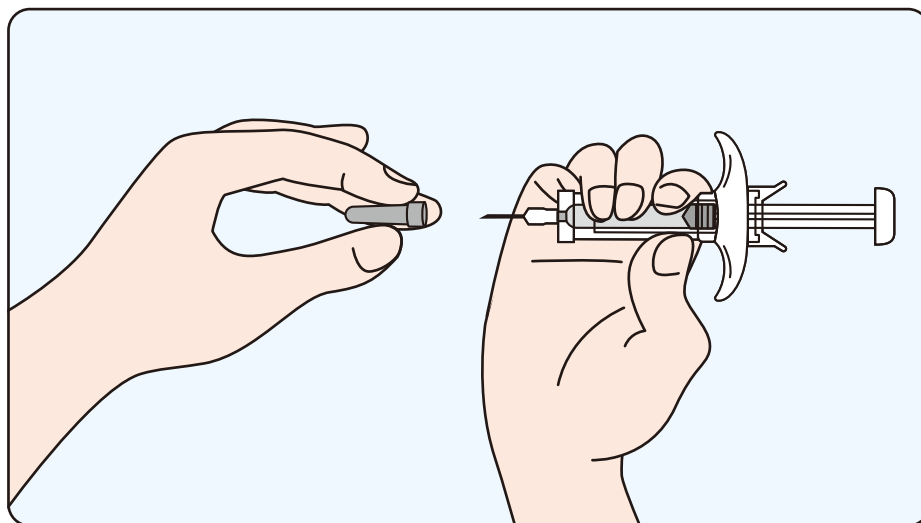


シリンジ内の薬液を確認しましょう。
薬液は無色もしくは淡黄色の澄明な液で、
白色または透明の微粒子を含む場合があります。
小さな気泡が認められることがありますが、正常な状態です。

- ❗ 薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には
注射しないでください。医師または薬剤師、看護師に連絡して、
代替りのゴリムマブBSを受け取ってください。
- ❗ シリンジを振らないでください。

自己注射用補助具を使用する場合は、P18へ

④ 針カバーを取り外します。

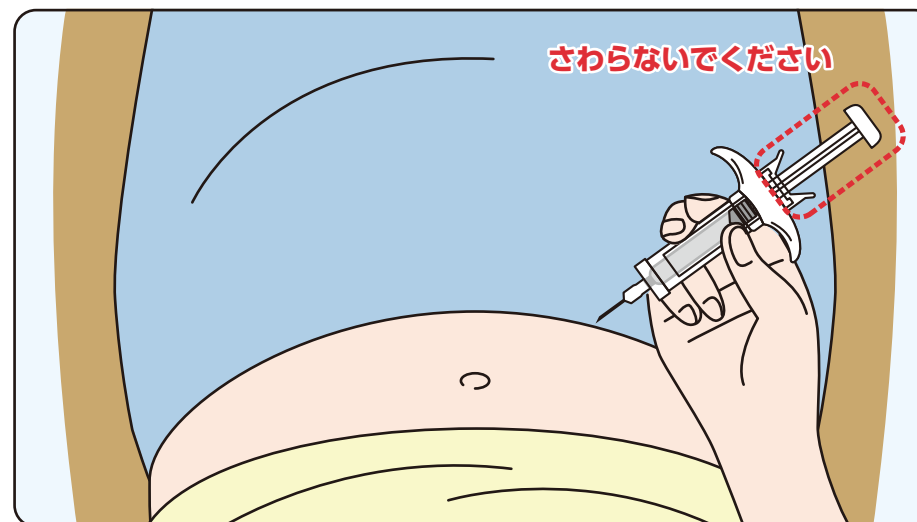


シリンジ本体を持ち、針カバーをまっすぐ横に引っ張って外しましょう。

液体のしずくが落ちることがありますが、問題ありません。

- ❗ 注射直前まで針カバーを外さないでください。
- ❗ 指に針を刺してしまったり、針を破損させる恐れがあるため、針カバーは付け直さないでください。
- ❗ 針先には手や他のものが触れないようにしてください。
- ❗ 針が曲がっていた場合や、シリンジを落とした場合は使用しないでください。医師または薬剤師、看護師に連絡して、代わりのシリンジを受け取ってください。

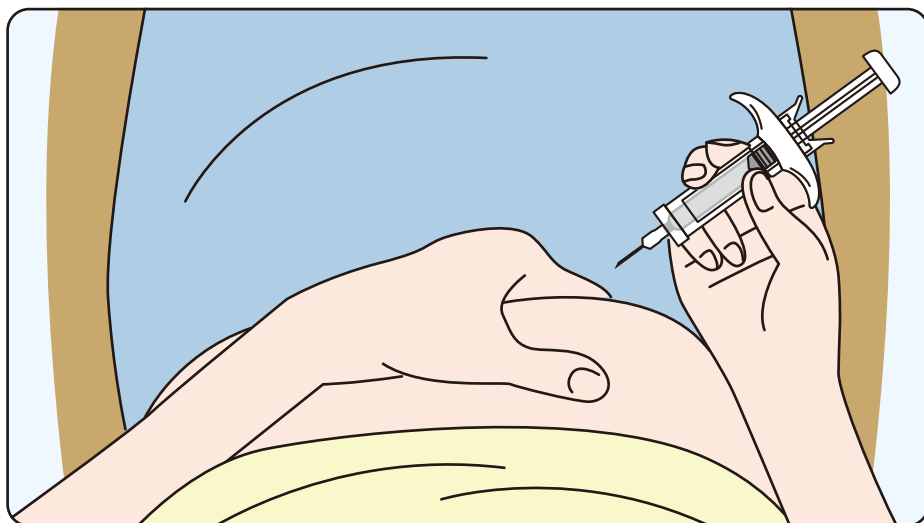
⑤ シリンジを持ちます。



親指と人差し指と中指で、シリンジ本体を持ちましょう。

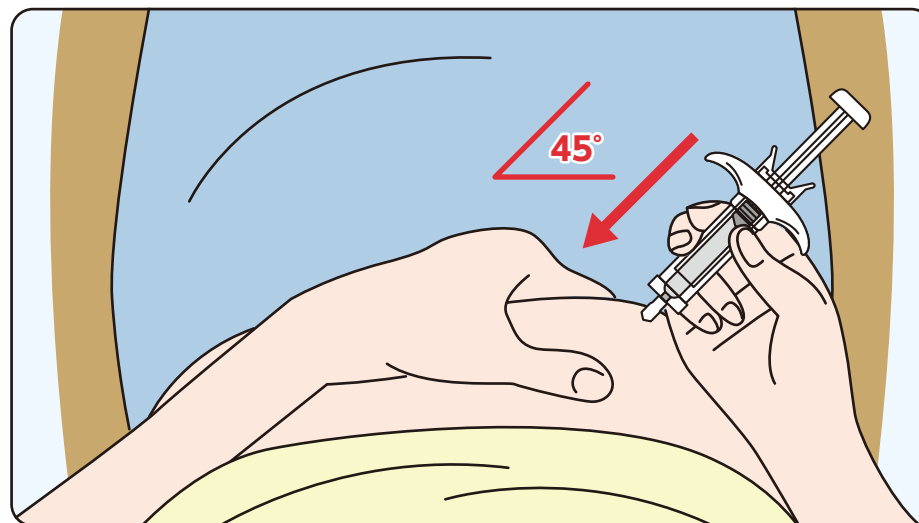
- ❗ 針のセーフティガードが作動する恐れがあるため、プランジャー部分またはフィンガーフランジより上の部分には触れないでください。

⑥ 注射部位をつまみます。



もう一方の手で、注射部位をつまみましょう。
皮膚をしっかりとつまんで、筋肉内ではなく、
皮下に注射できるようにします。

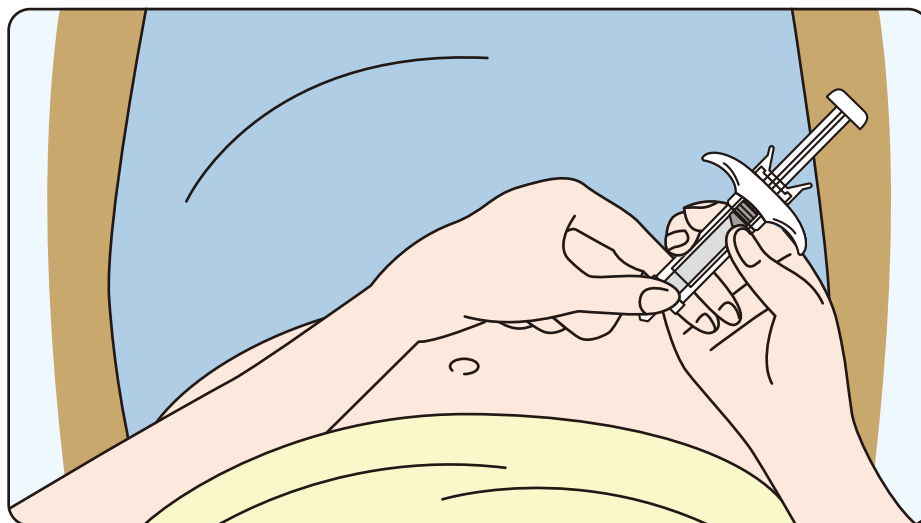
⑦ 針を刺します。



皮下に注射できるよう皮膚に対して約45°の角度で
針を刺しましょう。

❗ 注射針を刺したときに激痛を感じたり、血液が逆流した場合、
すぐに針を抜き、部位を変えて注射してください。

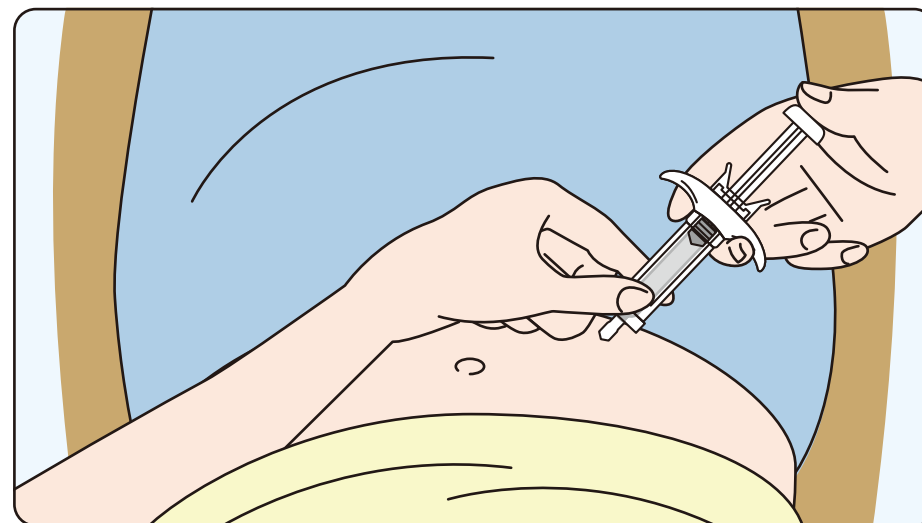
⑧ 皮膚をつまんだ手をシリンジに
持ちかえます。



皮膚をつまんでいた手をゆっくりと放し、
シリンジ本体に持ちかえましょう。

❗ 針のセーフティガードが作動する恐れがあるため、
プランジャー部分またはフィンガーフランジより上の部分には
触れないでください。

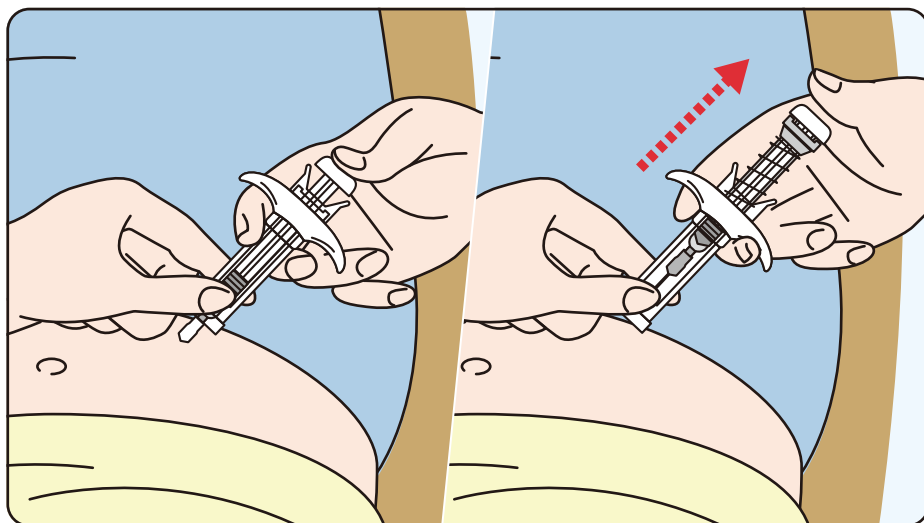
⑨ プランジャーを押します。



親指でプランジャーを押し、
ゆっくりお薬を注入しましょう。

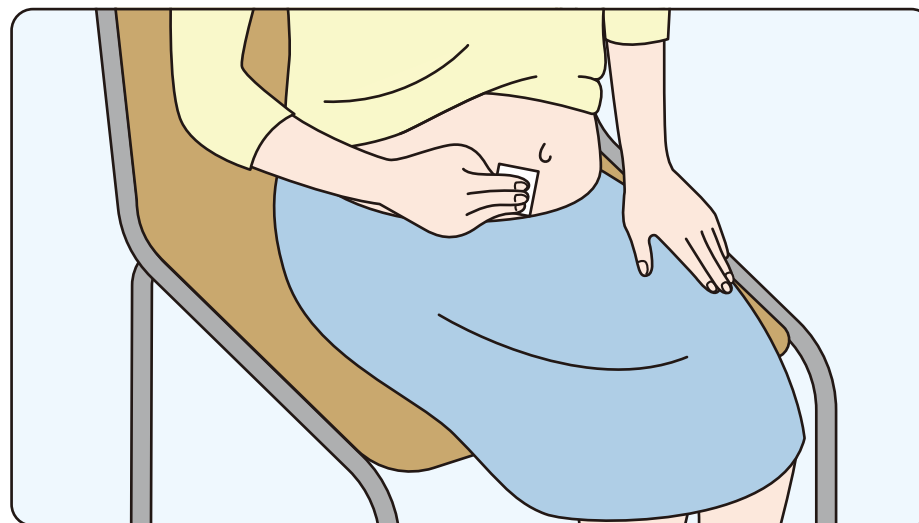
❗ プランジャーは最後まで押し切ってください。

⑩ プランジャーから親指を離します。



プランジャーから親指をゆっくり離すと、プランジャーが押し戻され、注射針が皮膚から抜けます。同時にセーフティガードが針をカバーし、固定されます。薬液のしずくが数滴出ても問題はありません。これで注射は完了です。

⑪ 注射部位を押さえます。

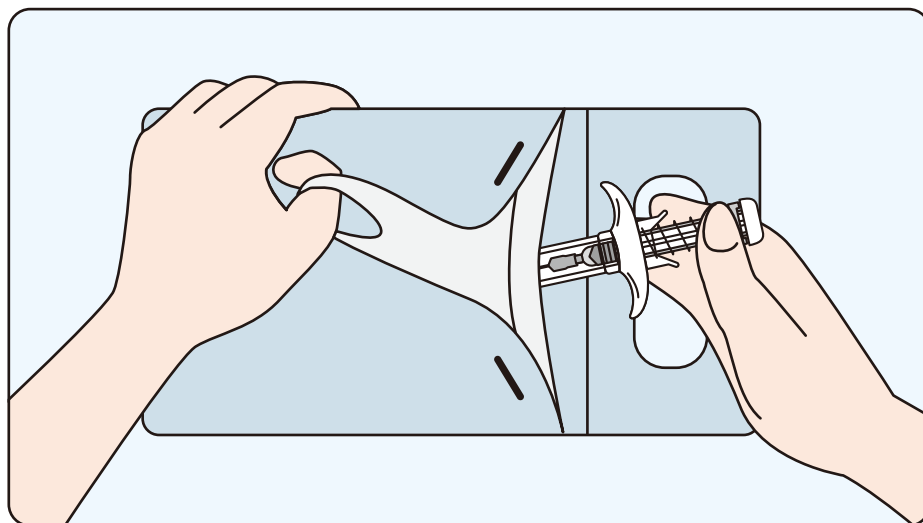


注射部位をアルコール消毒綿で軽く押さえましょう。少量の出血または薬液がみられる場合は、綿球またはガーゼパッドで皮膚を押さえます。必要に応じて、絆創膏を貼ります。

- ❗ 注射部位をこすったりもんだりしないでください。
- ❗ 腫れや出血が治まらない場合は医師または薬剤師、看護師に連絡してください。

注射後に副作用 (P4・5参照) があらわれたら、すぐに医師または薬剤師、看護師にご連絡ください。何日かたってから副作用があらわれた場合も、ご連絡ください。連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。

⑫ 使い終わったシリンジを廃棄します。



使い終わったシリンジや針カバーは、すみやかに使用済み専用廃棄バッグに入れましょう。

- ❗ 使い終わったシリンジは分解しないでください。
- ❗ 使い終わったシリンジは再利用しないでください。
- ❗ 使い終わったシリンジや使用済み専用廃棄バッグにはおさまが手を触れないようにしてください。
- ❗ シリンジや外した針カバーを家庭用のゴミ箱に捨てないでください。

使用済み専用廃棄バッグの処理方法



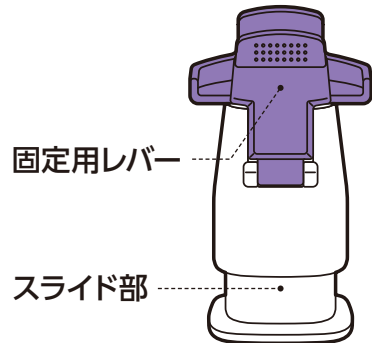
使用済み専用廃棄バッグに入れたシリンジは、医師または薬剤師、看護師の指示にしたがって廃棄しましょう。

自己注射用補助具を使う場合

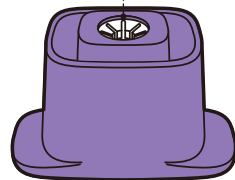


補助具

針カバーはずし

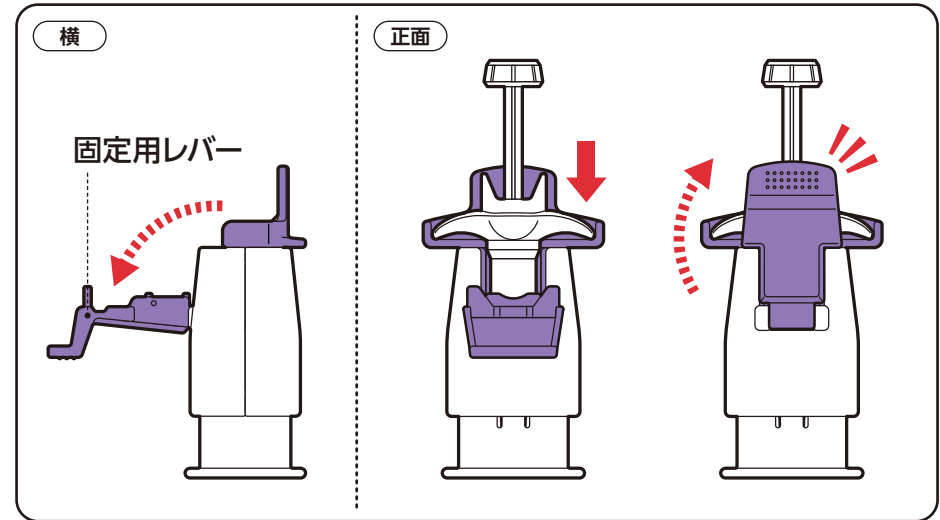


差し込み口



❗ 補助具の破損がみられる、または動作に不具合がある場合は、補助具の使用を中止してください。

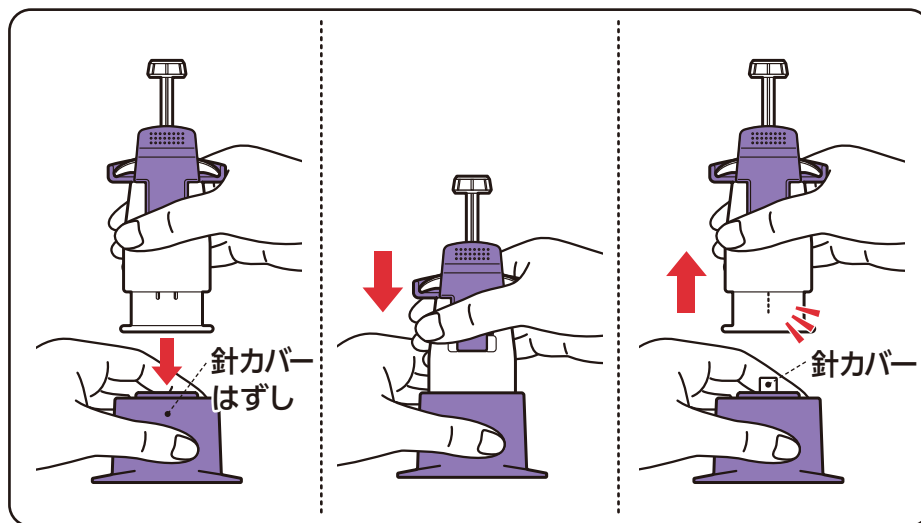
① 補助具にシリンジをセットします。



固定用レバーを開けます。

補助具上部からシリンジをセットし、固定用レバーを奥まで押し込んで閉じましょう。

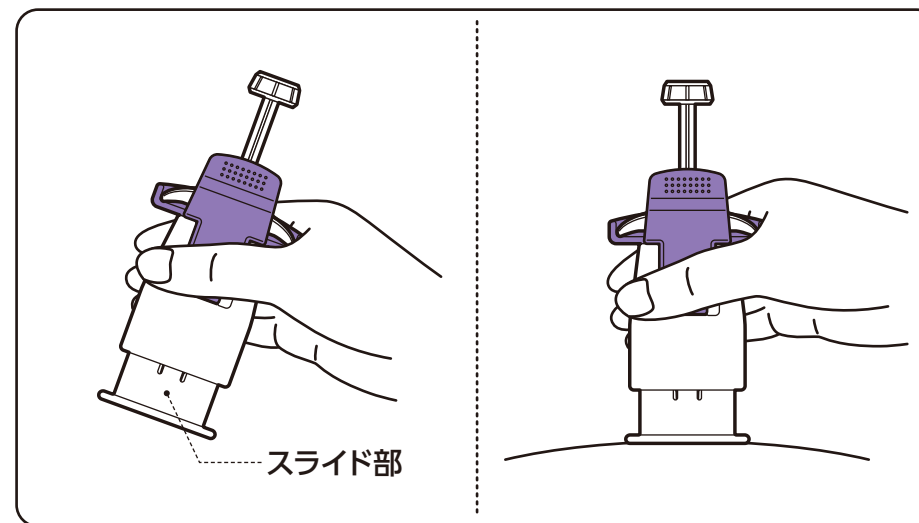
② シリンジの針カバーを外します。



針カバーはずしをしっかりと持ち、シリンジの針カバーの先端を差し込み口に垂直に差し込みましょう。
補助具を針カバーはずしからまっすぐ上に抜きとるとシリンジから針カバーが外れます。

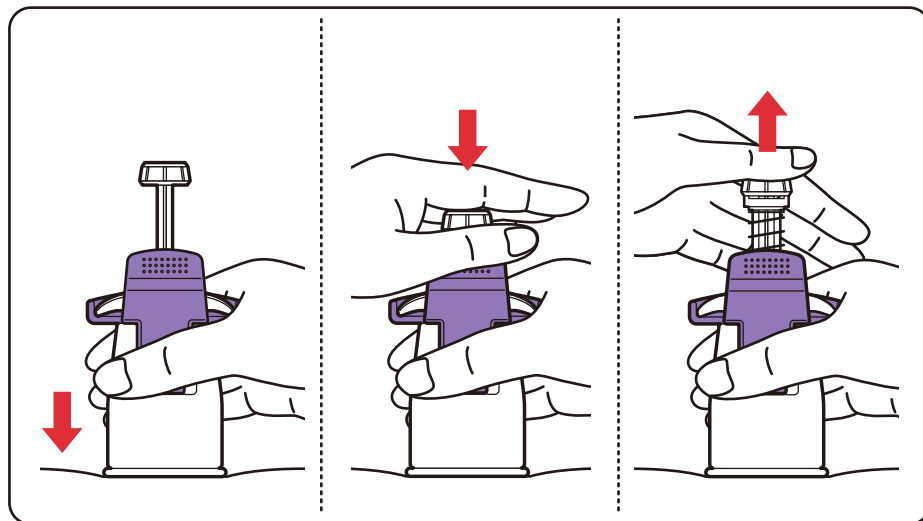
- ❗ 補助具は針カバーはずしの奥まで押し込んでください。
- ❗ 外れた針カバーは差し込み口に残った状態になります。
- ❗ 外れた針カバーは付け直さないでください。

③ スライド部を引き出し、皮膚にあてます。



スライド部が引き出されていることを確認し、スライド部を皮膚に垂直にあてて固定しましょう。

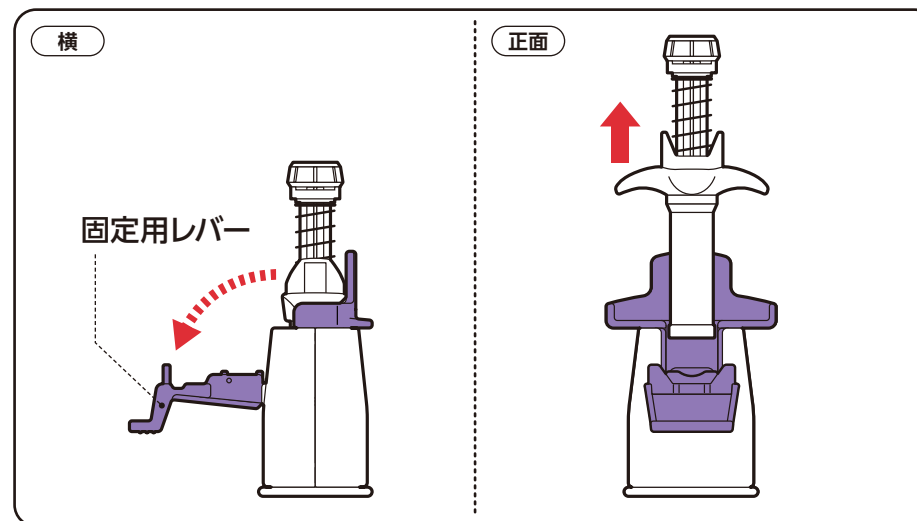
④ 注射をします。



スライド部を押し込んで注射針を刺しましょう。
補助具はしっかりと持ち、もう一方の手でプランジャーを
ゆっくりと最後まで押し込みましょう。
注射が終わったら、押ししている力をゆっくりゆるめると
針が皮膚から抜け、自動的にカバーされます。

- ❗ 注射部位は消毒してください。
- ❗ 注射部位をこすったりもんだりしないでください。
- ❗ 腫れや出血が治まらない場合は医師または薬剤師、
看護師に連絡してください。

⑤ 補助具から シリンジを取り出します。



固定用レバーを開け、注射器を補助具から取り出し廃棄しま
しょう。

- ❗ 使い終わった注射器や針カバーは、
すみやかに使用済み専用廃棄バッグに入れましょう。

注射後に副作用 (P4・5参照) があらわれたら、
すぐに医師または薬剤師、看護師にご連絡ください。
何日かたってから副作用があらわれた場合も、ご連絡ください。
連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。

Q. 決められた日に注射できなかった場合はどうしたらよいですか？

A. 自己判断でほかの日に注射することはせず、医師または薬剤師、看護師に連絡し、指示にしてください。

Q. 体調がすぐれない場合でも、注射してよいですか？

A. 自己判断で注射をせずに医師または薬剤師、看護師に連絡し、指示にしてください。

Q. 何時に注射すればよいですか？

A. 注射する時間に決まりはありません。注射を忘れないようにしましょう。

Q. 注射の準備中に、お薬を落としてしまいました。どうしたらよいですか？

A. シリンジが破損している可能性があるため注射は行わず、医師または薬剤師、看護師に連絡し、指示にしてください。

Q. 注射のとき、液がもれてしまいました。
どうしたらよいですか？

A. 液もれの程度を医師または薬剤師、看護師に連絡し、指示にしたがってください。なお、シリンジの針カバーを取り外した後に薬液のしずくがみられることがあります。問題ありません。

Q. 注射のときに、薬液が目や傷口に入ってしまったら、どうしたらよいですか？

A. すぐに水で洗い流し、いつもと違うと感じた場合は、医師または薬剤師、看護師に連絡し、指示にしたがってください。

医療機関名

電話番号

主治医の名前

薬局名

電話番号

自己注射のためのガイドビデオ

自己注射について、
動画で詳しく解説しています。
右の二次元バーコードを読み取り、
視聴してください。

